

授業科目名 Course Name	国際食料問題演習	教員名 Course Instructor(s)	福田 亘博 Nobuhiro Fukuda
		Eメールアドレス E-mail	nfukuda@sky.miyazaki-mic.ac.jp
授業形態 Class Format	演習 Seminar	オフィスアワー Office Hours	演習後 After each session
科目番号 Course Code	LAI621	担当形態 Mode of Instruction (Solo / Omnibus / Jointly)	単独 Solo
単位数 No. of Credits	2	配当年次 Allocated Year	1～2年次
		卒業要件 Required or Elective to Graduate	選択 Elective
到達目標 Goals	今後、地球温暖等により予測される世界・我が国における食料問題について、①地球温暖化ガスと農業生産、②持続可能な食料生産及び③食品廃棄物の再利用について、それぞれの現状と課題及び解決策について調査・考察し、新たなビジョンを提案できることを目標とする。		
授業の概要 Course Overview	<p>21世紀は、人口爆発に伴い食資源、水資源、・土地（農地）が不足し、偏在する。遺伝資源や食品にも汚染が懸念され、流通、廃棄物処理さらには経済格差、貧困など人類の生存が世界的危機を迎える。</p> <p>世界の人口は主に最貧国を中心に爆発的に増加することが予測されている。これに伴い、食料不足による飢餓と栄養不良等の問題等が発生する他、水資源や土地（農地）不足に加えて環境汚染なども懸念されている。加えて、近年、二酸化炭素等の排出増加に伴う地球規模の温暖化による気候変動は、人類の生存に係る食料生産に影響を及ぼすことが強く指摘されている。本講では、環境生命学特論で取り扱う内容や修士論文（①～③に関するテーマ）について、演習形式で学修・討論し、より深い知識・考察力を育成する。最終的には、2015年国連で採択されたSustainable Development Goals（SDGs：持続可能な開発目標）のうち、2. 飢餓をゼロに「飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」の解決策と新たな改革案を提示することを目標とする。</p>		
ディプロマ・ポリシーとの関係 Diploma Policy Objectives	<p>DP1-2 国際コミュニケーションの観点から専門的な研究を行うために必要な学術的思考力を身に付け、国際社会の課題や諸問題を理解し、論理的かつ批判的に分析する能力や問題・課題の解決に向けて提言・実行する能力を有する。</p> <p>Acquire the academic cogitative skills necessary to conduct specialized research from the</p>		

	<p>perspective of international communication, understand and logically as well as critically analyze issues and topics of the international community, and has the ability to make proposals and take action to solve these issues.</p> <p>DP2-1 異文化の多様性を客観的に見つめ、それぞれの特徴を的確に判断できる能力や異文化に関する知識を有する。 -</p> <p>Acquire the ability to observe objectively at the diversity of foreign cultures and to accurately grasp the characteristics of each, and has knowledge about foreign cultures.</p> <p>DP2-2 現代のグローバル社会のさまざまな課題に対し学際的研究ができる能力を有する。</p> <p>Acquire the ability to conduct interdisciplinary research on a range of issues that exist in the modern global society.</p>
履修条件・ 注意事項 Prerequisites / Remarks	
授業計画 Course Schedule	1) 地球温暖化ガスと農業生産 (1) 地球温暖化と二酸化炭素等の温暖化ガスの関係 (2) 地球温暖化と人口増加の現状・課題 (3) 食料生産に及ぼす地球温暖化の影響 (4) 地球温暖化と遺伝子組み換え食品の開発・課題 (5) 地球温暖化ガスと農業生産に関する取りまとめと討議 2) 持続可能な食料生産 (1) 世界・我が国における食料生産の現状・課題 (2) 先進国・発達途上国の食料生産に関わる水資源、農地及び農業生産者等の現状と課題 (3) 環境保全型農業生産の現状と課題 (4) 遺伝子組み換え作物の現状と課題 (5) 持続可能な食料生産に関する取りまとめと討議 3) フードロス及びリサイクル (1) 我が国におけるフードロス及びリサイクルの現状と課題 (2) 我が国における事業系・家庭等におけるフードロスの現状と消費者庁によるフードロス削減に関する施策等 (3) 世界におけるフードロス及びリサイクルの現状と課題 (4) 我が国・世界における貧困の現状と課題 (5) フードロス及びリサイクルに関する取りまとめと討議

<p>学生に対する 評価 Assessment Criteria</p>	<p>評価方法は、受講生と教員の間で議論することで、受講生の理解度を評価することによる。 なお、成績の評価基準は大学院学則に依る。 The evaluation method is based on the evaluation of the students' level of understanding through discussions between the students and the instructor. Grading criteria will be in accordance with the Graduate School Regulations.</p>
<p>時間外の学習 について Preparation and Revision outside Class</p>	
<p>テキスト Textbooks</p>	<p>随時紹介 Suggested, as needed.</p>
<p>参考書・参 考資料等 References</p>	